



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

田んぼのキャンパスに浮かび上がった「出世大名家康くん」―浜松市南区寺脇町



巨大たんぼアート登場

10日ほど見頃 南区に「出世大名家康くん」

浜松市南区寺脇町の田んぼに市の「福」市長でマスコットキャラクター「出世大名家康くん」の巨大たんぼアートが出現し、市民らを喜ばせている。

地区の住民22人でつくる「白脇たんぼアートの会」（外波山浩司代表）が6月、白脇小近くの約2200平方メートルの田んぼをキャンパスに「うるち米」や「赤米」など5種類の苗約12万株を植え、丹精を込めて育ててきた。

今月に入り、絵が浮かび上がってきたのに合わせ「見やすいように」と高さ約5メートルのやぐらを組んだ。外波山代表によると、「ここ10日ほどが見頃」で、10月上旬以降に収穫し、11月11日に同地区で行われる祭りで餅にして振る舞う。

2012年9月14日朝刊 西部版

- ① 巨大たんぼアートで出現したキャラクターは、だれでしょう。
- ② たんぼアートはどうやって絵を描いたのでしょうか。説明しなさい。
- ③ 収穫^{しゅうかく}した米はどのように利用しますか。記事から書き出しましょう。

年 組 名前

(小学校高学年 社会)